

# あだち自然ガイド

みつめてみよう あだちの生きもの



足立区

## 生きものさがしにでかけよう！



みられる環境: 樹林, 草地, 池沼・水路, 河川, 街なか  
 こんなができるよ! (特におすすめ!): 花見, 虫とり, セミ観察, 野鳥観察, 魚釣り, 魚とり, 散歩, 学ぶ

### 1 都立舎人公園

●施設概要  
 所在地: 舎人公園 1-1  
 電話: 03-3857-2308 (舎人公園サービスセンター)  
 開園日: 常時開園  
 駐車場: 476 台 (有料)  
 アクセス: 日暮里・舎人ライナー「舎人公園駅」下車ほか

区内で一番大きな公園です。みどりや水に恵まれた公園で、いろいろな生きものを観察することができます。春にはお花見もできます。

公園中央に位置する大池のまわりには、水辺の植物が生い茂り、チョウトンボやショウジョウトンボをはじめ、多くのトンボ類を観察することができます。

バードウォッチングの場としても親しまれており、バンやカモ類などの水辺の鳥から、シジュウカラやコゲラなどの樹林性の鳥まで幅広くみられます。また、冬場にはオオタカもみられます。

### 2 見沼代親水公園

●施設概要  
 所在地: 舎人 4-5 ~ 古千谷本町 4-8  
 駐車場: 無し  
 アクセス: 日暮里・舎人ライナー「見沼代親水公園駅」下車すぐ

水辺に集う生きものや四季折々の花を楽しみながら、全長約 1.8km、徒歩約 20 分の園路を散策できます。親水公園の最西端は神領橋親水緑道(全長約 500m)と接続しています。

### 4 葛西用水親水水路

●施設概要  
 所在地: 六木 3-38 ~ 中川 4-1  
 駐車場: 無し  
 アクセス: 綾瀬駅西口から東武バス六ツ木都住行き「六ツ木都住」下車ほか

江戸時代に農耕地の灌漑用としてつくられた用水路で、現在は親水水路として区民に親しまれています。ゆったりとした流水環境に水草が多く生育しています。水路沿いには桜並木があります。

### 5 神明六木遊歩道(折川樹林)

●施設概要  
 所在地: 神明 1-12 ~ 六木 3-52 地先  
 駐車場: 無し  
 アクセス: 綾瀬駅西口から東武バス六ツ木都住行き「六ツ木都住」下車ほか

折川沿いの遊歩道に、江戸時代に植えられたケヤキやスダジイなど多くの樹木があります。夏にはセミが多いため、羽化の観察もできます。また、緑道はアゲハ類など大型のチョウの通り道となっています。樹上ではヤモリを見つけることもできます。

### 3 桑袋ビオトープ公園

●施設概要  
 所在地: 花畑 8-2-2 電話: 03-3884-1021  
 開園時間: 9:00 ~ 17:00 (11月~1月は 9:00 ~ 16:30)  
 休園日: 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)  
 駐車場: 11 台 (無料)  
 アクセス: 谷塚駅から東武バス花畑桑袋団地行き「保育所前」下車ほか

もともとあった足立の自然を取り戻すために、つくられた公園です。生きものたちが自然と集まることをめざし、さまざまな環境づくりが行われています。

園内にある「あやせ川清流館」にはインタープーター(自然解説員)が常駐し、ビオトープや綾瀬川について解説してくれます。各種体験イベントもあります。

### 6 佐野いこいの森緑地

●施設概要  
 所在地: 佐野 1-31 電話: 03-3880-5897  
 開園日: 日、水曜日(12/29 ~ 1/3 を除く)  
 開演時間: 9 ~ 17 時 (2 ~ 10 月、10 ~ 16 時 (11 ~ 1 月))  
 駐車場: 無し  
 アクセス: 亀有駅北口からバス八潮駅南口行き「佐野センター前」下車

スダジイやマデバシイなど約 30 種 500 本の樹木があり、秋にはたくさんのドングリがみられます。またコゲラやメジロなどの野鳥も観察できます。

### 7 都市農業公園

●施設概要  
 所在地: 鹿浜 2-44-1 電話: 03-3853-4114  
 開園時間: 9:00 ~ 17:00 (5 ~ 8 月は 9:00 ~ 18:00)  
 休園日: 毎月第 1・第 3 水曜日(祝日及び 10/1 の時は翌日)、年末年始(12/28 ~ 1/4)  
 駐車場: 普通 160 台 大型バス 6 台 (有料)  
 アクセス: 西新井駅西口から東武バス鹿浜都市農業公園行き「鹿浜都市農業公園」下車ほか

農業をとおして自然とふれあうことのできる公園です。農業体験教室や講習会なども行われ、身近な自然や生きものについて楽しみながら学ぶことができます。

### 8 新田わくわく水辺広場

●施設概要  
 所在地: 新田 2,3 丁目地先  
 駐車場: 無し  
 アクセス: 北千住駅から都バス王子駅前行き「新田土手通り」下車ほか

荒川河川敷に、池や湿地、草地といった多様な環境がつけられ、さまざまな生きものを観察することができます。池のまわりには遊歩道が整備され、トンボやカエルなどの生きものを手軽に観察できます。

### 9 千住新橋緑地わんど広場

●施設概要  
 所在地: 足立 1・2 丁目地先  
 駐車場: 無し  
 アクセス: 東武線小菅駅より徒歩 5 分

草地やワンド、干潟などの多様な環境がみられ、生きもののお宝庫となっています。特にヨシ原は、ベンケイガニやクロベンケイガニなどのカニ類のすみかとなっているほか、オオヨシキリなどの野鳥も観察できます。

### 11 元洲江公園(生物園)

●施設概要  
 所在地: 保木間 2-17-1 電話: 03-3884-5577  
 アクセス: 竹ノ塚駅東口から東武バス花畑団地行き、または綾瀬駅行き「保木間通り」下車徒歩 5 分ほか

サクラやポプラをはじめ、多くの樹木がみられます。また、公園内の池では、ゆったり泳ぐカモの姿がみられます。

### 12 しょうぶ沼公園

●施設概要  
 所在地: 谷中 2-4-1  
 開園日: 常時開園  
 駐車場: 無し  
 アクセス: 千代田線綾瀬駅下車徒歩 1 分

園内にある五つの菖蒲田には、約 140 品種 8,100 株のハナショウブが咲き誇り、見頃をむかえる 6 月には「しょうぶまつり」が開催されます。園内には樹木やせせらぎがあり、セミやトンボなどの昆虫類が観察できます。

### 10 荒川ビジターセンター

●施設概要  
 所在地: 足立区千住 5-13-5 足立区生涯学習総合施設「学びピア 21」4 階  
 電話: 03-5813-3753  
 開館時間: 午前 9 時から午後 9 時 30 分 (午前 9 時から午後 5 時は解説員が常駐)  
 休館日: 第 2 月曜日(祝日の場合は第 3 月曜日)、年末年始(12 月 28 日 ~ 1 月 4 日)  
 駐車場: 地下 1 階(30 分以内無料、それ以降は 30 分毎 100 円)  
 アクセス: 北千住駅より徒歩 15 分 北千住駅西口から都バス足立清掃工場・竹ノ塚駅行き、もしくは東武バス花畑車庫・花畑桑袋団地行き「千住四丁目」下車徒歩 5 分

「清いのある暮らし」を考え、「豊かな環境」を後世に残していくために、解説員による荒川に関する情報提供や、自然に親しむ体験イベントを実施しています。

大小さまざまな池があり、メダカやモツゴなどの魚がみられます。

池のまわりには遊歩道が整備され、トンボやカエルなどの生きものを手軽に観察できます。

※池での釣りは禁止されています。荒川は OK です！

草地には背の低い草(低葎草地)と背の高い草(高葎草地)があり、それぞれの環境に応じてバッタやコオロギ、チョウなどの昆虫がすみかになっています。注意して観察しよう！

【生物園】  
 開園時間: 9:30 ~ 17:00 (11月~1月は 9:30 ~ 16:30)  
 ※入園は開園の 30 分前まで。  
 休園日: 月曜日(祝日の時は翌日)、年末年始(12 月 29 日 ~ 1 月 1 日)  
 入園料: 大人(高校生以上) 300 円、子ども(小・中学生) 150 円 ※小学生未満、70 歳以上の方は無料です。

併設されている生物園では、チョウが舞う温室、昆虫ドーム、大水槽などがあり、区内にすむ生きものから世界の珍しい生きものまで数多く展示されています。解説員が常駐し、初夏のホテル観賞会をはじめ、各種体験イベントが行われています。

### 13 都立東綾瀬公園

●施設概要  
 所在地: 東綾瀬 3-4 電話: 03-3605-0005 (東綾瀬公園サービスセンター)  
 駐車場: 有料 24 時間営業 大型車不可  
 アクセス: 東京メトロ千代田線「綾瀬」(C19) 下車 徒歩 1 分 (サービスセンターまで 18 分)

むかしは水田でしたが、区画整理事業によって公園になりました。公園西側の散歩道沿いには、かつての農業用水を生かしたせせらぎが流れており、豊富な植物や、水辺に集まる鳥、昆虫などを観察することができます。公園北側周辺は、線に囲まれた各種の運動施設となっています。桜の名所にもなっています。

あだち自然ガイド  
 みつめてみよう あだちの生きもの

平成 26 年 4 月 1 日発行  
 発行 足立区  
 編集 足立区環境部環境政策課  
 東京都足立区中央本町 1-17-1  
 電話 03-3880-5111(代表)



# あだち 生きもの図鑑

足立区でみられる代表的な生きものを紹介します。大きさと特徴、観察しやすい時期、環境などを種ごとに示しています。さあ、何種みつけられるかな？

### 図鑑の見方

**ニホンウナギ (ウナギ科)**  
全長：約100cm  
海に下って産卵する。近年、数が減っている。

**生息・生育する環境**

- 樹林
- 草地
- 池沼・水路
- 河川
- 街なか

- 希少種**  
環境省のレッドリストおよび東京都のレッドデータブックに掲載されている種。環境の悪化などにより数が減っている種です。
- 外来種**  
もともと足立区にはいなくて、人の手によって持ち込まれた種。国外のほかなく、国内のほかの地域から持ち込まれたものも含まれます。
- 特定外来生物**  
外来種のうち、外来生物法によって特定外来生物に指定されている種。生態系等に大きな被害を及ぼすため、飼育や移動は法律で禁止されています。
- 要注意外来生物**  
外来種のうち、外来生物法の規制対象外ですが、生態系に影響をおよぼすことから適切な取扱いについて理解と協力をお願いするために、環境省が指定している種。

## 生きものさがしにでかける前に！

**服装**

- 長そで・長ズボンなど (肌を出さない)
- 帽子
- はき慣れた運動靴・長靴

**持ち物**

- メモ帳
- 筆記用具
- タオル
- 水筒
- 虫メガネ
- 虫とり網
- 双眼鏡
- あだち自然ガイド

**ルール**

- 立ち入り禁止区域には入らない
- 子どもだけで川に近づかない
- 出かける前に天気予報を確認

## 植物

<b>シタレヤナギ (ヤナギ科)</b> 高さ：8～17m 花期：3～4月 ヤナギの代表格。	<b>ハナツツジ (ツツジ科)</b> 高さ：2m 花期：6～10月 花に虫が集まる。	<b>アレチウリ (ウリ科)</b> 高さ：3～20cm 花期：3～5月 実はトゲが多い。	<b>ヤブラン (ユリ科)</b> 高さ：30～60cm 花期：8～10月 果実は褐色。
<b>スタジイ (フナ科)</b> 高さ：15～20m 花期：5月下旬～6月 葉の裏が金色。	<b>イヌタデ (タデ科)</b> 高さ：20～50cm 花期：6～10月 別名アカマンマ。	<b>ホトケナヅ (シソ科)</b> 高さ：10～20cm 花期：8～9月 葉の形が仏の蓮座。	<b>クサイ (イグサ科)</b> 高さ：30～50cm 花期：7～10月 あまり目立たない。
<b>マテバシイ (フナ科)</b> 高さ：15m 花期：6月 大きめのどんぐり。	<b>イタドリ (タデ科)</b> 高さ：50～150cm 花期：7～10月 若い茎は酸味がある。	<b>オシロイバナ (ゴマノハグサ科)</b> 高さ：30～100cm 花期：4～9月 水際に見える。	<b>コゴメイ (イグサ科)</b> 高さ：80～150cm 花期：5～6月 葉は細長い。
<b>エノキ (ニレ科)</b> 高さ：15～20m 花期：3～5月 葉の緑が半ギザギザ。	<b>ウツクシ (キンポウゲ科)</b> 高さ：40～60cm 花期：3～7月 花びらに強い光沢あり。	<b>オシロイバナ (ゴマノハグサ科)</b> 高さ：5～10cm 花期：3～7月 春を告げる小さな草花。	<b>チガヤ (イネ科)</b> 高さ：30～80cm 花期：5～6月 銀色の穂。
<b>タブノキ (クスノキ科)</b> 高さ：15～20m 花期：4～5月 新芽が赤く美しい。	<b>ドクダミ (ドクダミ科)</b> 高さ：15～30cm 花期：8～10月 葉草として有名。	<b>ヤセウツボ (ハマツツボ科)</b> 高さ：20～50cm 花期：5～6月 ほかの植物に寄生する。	<b>ヨシ (イネ科)</b> 高さ：150～300cm 花期：8～11月 水辺の植物の代表。
<b>ソメイヨシノ (バラ科)</b> 高さ：10～15m 花期：3～4月 お花見でおなじみの桜。	<b>チガヤミナグサ (ケシ科)</b> 高さ：20～60cm 花期：4～5月 タネはとて細かく。	<b>オシロイバナ (ゴマノハグサ科)</b> 高さ：10～20cm 花期：4～9月 踏み付けに強い。	<b>アキノエノコログサ (イネ科)</b> 高さ：50～80cm 花期：8～11月 大きめのネコジャラシ。
<b>アケボノソウ (トウダイク草科)</b> 高さ：15m 花期：7月 新芽は赤く毛が多い。	<b>マツタネ (アブラナ科)</b> 高さ：20～50cm 花期：5～6月 果実は軍艦のよう。	<b>ヘチマ (オシロイバナ科)</b> 高さ：20～70cm 花期：6～8月 葉の形がヘラのよう。	<b>セパンモロコシ (イネ科)</b> 高さ：80～180cm 花期：8～11月 大型のイネ科植物。
<b>ヤツデ (ウコギ科)</b> 高さ：1～3m 花期：11～12月 冬に花が咲く。	<b>タコノアシ (ユキシタ科)</b> 高さ：20～60cm 花期：8～9月 花がタコの足つぽい。	<b>ハルジオン (キク科)</b> 高さ：30～100cm 花期：5～7月 茎の断面は穴がある。	<b>ヒメガマ (ハマ科)</b> 高さ：150～200cm 花期：6～8月 果実はふわふわ。
<b>サツキ (ツツジ科)</b> 高さ：10～100cm 花期：5～7月 初夏を彩る花。	<b>ヒメアザミ (キク科)</b> 高さ：20～60cm 花期：5～8月 3枚の葉にV字模様。	<b>ヒメアザミ (キク科)</b> 高さ：100～250cm 花期：10～11月 地下茎で大群落を作る。	<b>イヌタネキモ (タヌキモ科)</b> 全長：100cm 花期：7～9月 プランクトンを食べる水草。
<b>ヒメアザミ (キク科)</b> 高さ：20～60cm 花期：3～8月 葉が美しい。	<b>カタバミ (カタバミ科)</b> 高さ：20～60cm 花期：3～9月 オクラのような果実。	<b>ヒメアザミ (キク科)</b> 高さ：15～30cm 花期：3～9月 毛川に多い水草。	

## 昆虫

<b>アホモシトトンボ (トンボ科)</b> 体長：約3cm 出現期：4～10月 オスは尾の先が青い。	<b>チョウトンボ (トンボ科)</b> 体長：2.5～5cm 出現期：6～9月 ひらりと飛ぶ。	<b>オシロイバナ (トンボ科)</b> 体長：2.5～4cm 出現期：8～12月 ♀が目をあぶる。	<b>ツクツクボウシ (セミ科)</b> 体長：約3cm 出現期：6～10月 オーシツツクと鳴く。
<b>ギンヤンマ (ヤンマ科)</b> 体長：7.5cm 出現期：4～10月 緑と青の美しい模様。	<b>ハラビロカマキリ (カマキリ科)</b> 体長：5.7cm 出現期：4～11月 腹部の幅が広い。	<b>ツチイナゴ (イナゴ科)</b> 体長：5.5cm 出現期：8～11月 成虫のまま越冬する。	<b>ミンミンゼミ (セミ科)</b> 体長：約6cm 出現期：7～9月 ミンミンと鳴く。
<b>シヨウカラトンボ (トンボ科)</b> 体長：約5cm 出現期：4～9月 ♀は変化する。	<b>チョウセンカマキリ (カマキリ科)</b> 体長：6.8cm 出現期：8～11月 はねの一部がうす茶色。	<b>シヨウリウオウバッタ (バッタ科)</b> 体長：4.8cm 出現期：8～11月 キチキチと鳴く。	<b>ニイニゼミ (セミ科)</b> 体長：約3cm 出現期：8～9月 チーと鳴く。
<b>シヨウリウオウトンボ (トンボ科)</b> 体長：4.5cm 出現期：4～5月 ♂は全身が赤色。	<b>アキノオロギ (オロギ科)</b> 体長：3.3～5cm 出現期：7～11月 コロコロと鳴く。	<b>トノサマバッタ (バッタ科)</b> 体長：4.6～5cm 出現期：7～11月 大型のバッタ。	<b>アメンボ (アメンボ科)</b> 体長：1.1～1.5cm 出現期：3～10月 水アメのおいがる。
<b>アキアカネ (トンボ科)</b> 体長：約4cm 出現期：4～12月 代表的な赤とんぼ。	<b>アネマツシ (マツシ科)</b> 体長：2.3cm 出現期：7～11月 リーツーツと鳴く。	<b>アラゼミ (セミ科)</b> 体長：5.6cm 出現期：7～10月 ジューリリと鳴く。	<b>ハイロゴシゴロウ (ゲンゴロウ科)</b> 体長：約1.5cm 出現期：3～10月 浅い水たまりにもいる。

### 生態系のしくみ

自然環境のなかでは、さまざまな生きものが複雑につながって暮らしています。



**生産者 (植物)**  
太陽光のもと、土の栄養と水、空気中の二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を使って光合成を行い、動物に必要な酸素 (O<sub>2</sub>) と食べもの (葉や実など) をつくりだします。

**一次消費者 (草食動物)**  
植物が作った食べものを、まず草食動物が利用します。そして、草食動物は、肉食動物の餌となります。

**高次消費者 (肉食動物)**  
肉食動物は強そうなイメージがありますが、餌となる生きものがたくさんいないと生きていけません。

**分解者 (土壌動物など)**  
生きものや死がいを食べたり分解し、再び植物の栄養となる土をつくりだします。

いろいろな環境に、いろいろな生きものがいること、つまり「生物多様性」があることによって、人間も豊かに暮らしているんじゃないかな！

だから自然を大切にしたいですね！

人間も同じ生きもの仲間！生態系の一員なんだ！

## 鳥類

<b>マガモ (カモ科)</b> 全長：約59cm 渡り区分：冬鳥 アヒルの仲間。	<b>ユリカモメ (カモメ科)</b> 全長：約40cm 渡り区分：冬鳥 東京都鳥。	<b>カルガモ (カモ科)</b> 全長：約61cm 渡り区分：留鳥 夏に子連れがみられる。	<b>ウミネコ (カモメ科)</b> 全長：約46cm 渡り区分：留鳥 声は猫に似たミーャー。
<b>コガモ (カモ科)</b> 全長：約38cm 渡り区分：冬鳥 名前とおり小さなカモ。	<b>オオタカ (タカ科)</b> 全長：約50-58cm 渡り区分：留鳥 メスの方が大きい。	<b>カワウ (ウ科)</b> 全長：約82cm 渡り区分：留鳥 全身黒色で首が白い。	<b>オナガ (カラス科)</b> 全長：約37cm 渡り区分：留鳥 全身灰色の大きなサギ。
<b>カワセミ (カワセミ科)</b> 全長：約26cm 渡り区分：留鳥 潜水して小魚を食べる。	<b>オオヨシキリ (ヨシキリ科)</b> 全長：約18cm 渡り区分：留鳥 ヨシ原等に生息する。	<b>アオサギ (サギ科)</b> 全長：約93cm 渡り区分：留鳥 全身灰色の大きなサギ。	<b>オナガ (カラス科)</b> 全長：約37cm 渡り区分：留鳥 全身灰色の大きなサギ。
<b>カワセミ (カワセミ科)</b> 全長：約26cm 渡り区分：留鳥 潜水して小魚を食べる。	<b>オオヨシキリ (ヨシキリ科)</b> 全長：約18cm 渡り区分：留鳥 ヨシ原等に生息する。	<b>オナガ (カラス科)</b> 全長：約37cm 渡り区分：留鳥 全身灰色の大きなサギ。	<b>オナガ (カラス科)</b> 全長：約37cm 渡り区分：留鳥 全身灰色の大きなサギ。

## 両生類・は虫類・哺乳類

<b>アマガエル (アマガエル科)</b> 体長：2.5cm 葉や木の上にいる。緑や灰色の色を変える。	<b>ヤモリ (ヤモリ科)</b> 全長：10-14cm 樹木や家屋に。垂直の壁もはよることができ。	<b>アマガエル (アマガエル科)</b> 体長：2.5cm 葉や木の上にいる。緑や灰色の色を変える。	<b>ヤモリ (ヤモリ科)</b> 全長：10-14cm 樹木や家屋に。垂直の壁もはよることができ。
<b>ドクキョウタルマガエル (アカガエル科)</b> 全長：4.9cm 川沿いの湿地に。虫やミミズを食べる。	<b>カナヘビ (カナヘビ科)</b> 全長：16-27cm 小さな虫を食べる。しっぽを切ると逃げる。	<b>アマガエル (アマガエル科)</b> 体長：2.5cm 葉や木の上にいる。緑や灰色の色を変える。	<b>ヤモリ (ヤモリ科)</b> 全長：10-14cm 樹木や家屋に。垂直の壁もはよることができ。
<b>ウツクシ (ウツクシ科)</b> 全長：約14cm 渡り区分：冬鳥 オスはオレンジの腹が目立つ。	<b>アマガエル (アマガエル科)</b> 全長：12-18cm 昔、食用に輸入された。ウツクシのような色を変える。	<b>アマガエル (アマガエル科)</b> 体長：2.5cm 葉や木の上にいる。緑や灰色の色を変える。	<b>ヤモリ (ヤモリ科)</b> 全長：10-14cm 樹木や家屋に。垂直の壁もはよることができ。
<b>ウツクシ (ウツクシ科)</b> 全長：約14cm 渡り区分：冬鳥 オスはオレンジの腹が目立つ。	<b>アマガエル (アマガエル科)</b> 全長：12-18cm 昔、食用に輸入された。ウツクシのような色を変える。	<b>アマガエル (アマガエル科)</b> 体長：2.5cm 葉や木の上にいる。緑や灰色の色を変える。	<b>ヤモリ (ヤモリ科)</b> 全長：10-14cm 樹木や家屋に。垂直の壁もはよることができ。

## 魚類

<b>ニホンウナギ (ウナギ科)</b> 全長：約100cm 海に下って産卵する。近年、数が減っている。	<b>ドジョウ (ドジョウ科)</b> 全長：12-18cm 一生涯にすむ。泥によく潜る。	<b>オオクチバス (サンフィッシュ科)</b> 全長：約50cm 一生涯にすむ。魚やエビを食べる。	<b>アベハゼ (ハゼ科)</b> 全長：約5cm 主に河口付近にすむ。干潮の水たまりにいる。
<b>コイ (コイ科)</b> 全長：約100cm 一生涯にすむ。口はヒゲがある。	<b>ナマス (ナマス科)</b> 全長：約60cm 一生涯にすむ。夜、エビや小魚を食べる。	<b>ウキゴリ (ハゼ科)</b> 全長：約50cm 一生涯にすむ。魚やエビを食べる。	<b>トウヨシノボリ (ハゼ科)</b> 全長：約7cm 淡水から河口にすむ。川や池にすむハゼ。
<b>ギンナギ (コイ科)</b> 全長：約12cm 一生涯にすむ。口はヒゲがない。	<b>アユ (アユ科)</b> 全長：約18cm 子どもは海で育つ。親は川の中流にすむ。	<b>ベリゴリ (ハゼ科)</b> 全長：約5cm 主に河口付近にすむ。中層を泳ぐことも多い。	<b>シメアザミハゼ (ハゼ科)</b> 全長：約5cm 主に河口付近にすむ。黒い線が特徴。
<b>タイリクバラタナゴ (コイ科)</b> 全長：約8cm 一生涯にすむ。二枚貝に産卵する。	<b>ボラ (ボラ科)</b> 全長：約8cm 河口から海にすむ。水上にジャンプする。	<b>マハゼ (ハゼ科)</b> 全長：約5cm 主に河口付近にすむ。ハゼ釣りの対象魚。	<b>ヌマキチブ (ハゼ科)</b> 全長：約15cm 淡水から河口にすむ。肉食性が強い。

### 生きものすみやすい街にしよう！

庭やベランダのちょっとしたスペースに、花を植えたプランターや水盤を植えたスライム林などを置くことによって、生きものを呼ぶことができます。

例えば、あるトンボの移動できる距離が1kmだとすると...

移動可能 移動可能 移動できない

多くの緑地が飛び石にあることによって遠くまで移動できる！

街の中にある水路や街路樹も、生きものすみやすい街になっているんだね！

## エビ・カニ・貝など

<b>ヒメタニシ (タニシ科)</b> 殻の高さ：約3cm 池や川にふたつに。水の汚れに強い。	<b>テナガエビ (テナガエビ科)</b> 体長：約9cm 川の下游に多い。細く長いほらみ。
<b>サカマキガイ (サカマキガイ科)</b> 殻の高さ：約5cm タニシ等と違い、巻き方が逆。水汚れに強い。	<b>アメリカザリガニ (アメリカザリガニ科)</b> 体長：約10cm 赤黒くて大きなほらみ。はさまれるほらみ。川岸に穴を掘って生活。
<b>カワバシリ (イサギ科)</b> 全長：約14cm 川や池にすむハゼ。	<b>クロベンケイガニ (ベンケイガニ科)</b> 甲らの幅：約3cm 黒っぽい体色。川岸に穴を掘って生活。
<b>ヤマトシジミ (シジミ科)</b> 殻の高さ：約3.5cm 河口と汽水に多い。お味噌汁の貝になる。	<b>ベンケイガニ (ベンケイガニ科)</b> 甲らの幅：約3cm 赤い強い体色。川岸に穴を掘って生活。
<b>カワハシ (イサギ科)</b> 全長：約14cm 川や池にすむハゼ。	<b>モズガニ (モズガニ科)</b> 甲らの幅：約6cm 大きくて水深はさき。海に下って産卵する。
<b>スズエビ (テナガエビ科)</b> 体長：約5.5cm 池などにも。夏間は水草などに潜む。	<b>ヤマトウグイ (ウグイ科)</b> 全長：約20cm 干潟の腹の中をすむ。シガなどの餌になる。

### 困った外来種たち...

足立区には、人の手によってよそから持ち込まれた外来種もたくさんみられます。

**金魚やミドリガメなど、家で飼っているペットも、野に放さないように！**

**間違った外来種**  
カタヤシ (外来種)  
しりびれが多い

**間違った外来種**  
ミナメダカ (希少種)  
しりびれが多い

**間違った外来種**  
カタヤシ (外来種)  
しりびれが多い

**間違った外来種**  
カタヤシ (外来種)  
しりびれが多い

外来種がふえる、もともといる生きものが脅かされてしまったり、すみにくくなってしまったり、生態系が壊れてしまったり！

外来種のカダヤシは、希少種のミナメダカによく似ているけど、しりびれの形が違うんじ！

※最新の研究により、日本のメダカは、キナメダカとミナメダカの2種に分かれました。足立区には、ミナメダカがいます。

### 困った外来種たち...

足立区には、人の手によってよそから持ち込まれた外来種もたくさんみられます。

**金魚やミドリガメなど、家で飼っているペットも、野に放さないように！**

**間違った外来種**  
カタヤシ (外来種)  
しりびれが多い

**間違った外来種**  
ミナメダカ (希少種)  
しりびれが多い

**間違った外来種**  
カタヤシ (外来種)  
しりびれが多い

**間違った外来種**  
カタヤシ (外来種)  
しりびれが多い

外来種がふえる、もともといる生きものが脅かされてしまったり、すみにくくなってしまったり、生態系が壊れてしまったり！

外来種のカダヤシは、希少種のミナメダカによく似ているけど、しりびれの形が違うんじ！

※最新の研究により、日本のメダカは、キナメダカとミナメダカの2種に分かれました。足立区には、ミナメダカがいます。